

令和4年度高岡市高岡市民病院事業会計決算の概要

1 患者数の状況

項 目		令和4年度	令和3年度	対前年度増減		
				増 減	率 (%)	
患 者 数	入 院	延べ患者数	90,308 人	98,352 人	▲ 8,044	▲ 8.2
		診療実日数	365 日	365 日	0	0.0
		一日平均患者数	247.4 人	269.5 人	▲ 22.1	▲ 8.2
	外 来	延べ患者数	171,548 人	176,469 人	▲ 4,921	▲ 2.8
		診療実日数	243 日	242 日	1	0.4
		一日平均患者数	706.0 人	729.2 人	▲ 23.2	▲ 3.2
	計		261,856 人	274,821 人	▲ 12,965	▲ 4.7
	病床利用率 (R4:373床、R3:401床)		66.3 %	67.2 %	▲ 0.9	ポイント
	平均在院日数		12.5 日	13.1 日	▲ 0.6	日
新入院患者数		6,660 人	6,935 人	▲ 275	人	

2 収益的収支の状況

(単位:千円)

年度 区分	令和4年度	令和3年度	増減		備考 (増減理由の主なもの)		
	決算額(a)	決算額(b)	金額(a-b)	率 (%)			
経常 収 益	医業収益(I)	7,605,314	7,792,698	▲ 187,384	▲ 2.4		
	入院収益	5,267,223	5,487,251	▲ 220,028	▲ 4.0	・入院単価 58,325円(55,792円(R3)) +2,533円 ・延入院患者 90,308人(98,352人(R3)) ▲8,044人	
	外来収益	2,054,179	2,021,099	33,080	1.6	・外来単価 11,974円(11,453円(R3)) +521円 ・延外来患者 171,548人(176,469人(R3)) ▲4,921人	
	その他医業収益	283,912	284,348	▲ 436	▲ 0.2		
	医業外収益	1,983,184	2,317,089	▲ 333,905	▲ 14.4		
	受取利息及び配当金	0	0	0	-		
	補助金	1,885,816	2,018,177	▲ 132,361	▲ 6.6	・県補助金の減少(新型コロナ関係補助金)	
	長期前受金戻入	56,679	46,071	10,608	23.0		
	その他医業外収益	40,689	252,841	▲ 212,152	▲ 83.9	・国庫補助金の減少(新型コロナ関係補助金)	
	計 (A)	9,588,498	10,109,787	▲ 521,289	▲ 5.2		
	経常 費 用	医業費用(II)	8,788,427	8,409,832	378,595	4.5	
		給与費	4,836,945	4,673,372	163,573	3.5	・財政健全化緊急プログラムによる給与削減の終了に伴う増加 ・人勤等による期末勤勉手当の増加 ・看護師の処遇改善による手当の増加 ・新型コロナウイルス患者対応に係る防疫手当の増加
		材料費	1,751,983	1,662,507	89,476	5.4	・外来化学療法件数の増及び高額な薬品の使用等による薬品費の増加
経費		1,535,069	1,426,500	108,569	7.6	・電気、ガス、重油単価の上昇による光熱費及び燃料費の増加 ・放射線機器保守委託料の増加、院内保育開始による委託料の増加	
減価償却費		641,739	632,960	8,779	1.4	・器械備品に係る減価償却費の増加	
資産減耗費		8,591	3,712	4,879	131.4	・固定資産除却に係る資産減耗費の増加	
研究研修費		14,100	10,781	3,319	30.8		
医業外費用		494,011	454,912	39,099	8.6		
支払利息		122,047	139,989	▲ 17,942	▲ 12.8	・償還利子の減少	
その他医業外費用		371,964	314,923	57,041	18.1		
計 (B)	9,282,438	8,864,744	417,694	4.7			
経常損益(C) (A)-(B)=(C)	306,060	1,245,043	▲ 938,983	▲ 75.4			
医業損益(I-II)	▲ 1,183,113	▲ 617,134	▲ 565,979	▲ 91.7			
特別利益(D)	0	5,039	▲ 5,039	皆減			
特別損失(E)	0	5,037	▲ 5,037	皆減			
特別損益 (D)-(E)=(F)	0	2	▲ 2	皆減			
減価償却費等引当収支	905,034	1,840,564	▲ 935,530	▲ 50.8			
総収益(A)+(D)	9,588,498	10,114,826	▲ 526,328	▲ 5.2			
総費用(B)+(E)	9,282,438	8,869,781	412,657	4.7			
純損益(C)+(F)	306,060	1,245,045	▲ 938,985	▲ 75.4			

3 資 本 的 収 支 の 状 況

(単位:千円)

年 度 区 分	令和4年度	令和3年度	増 減		備 考 (増減理由の主なもの)	
	決算額(a)	決算額(b)	金 額(a-b)	率 (%)		
資 本 的 収 入	企 業 債	273,500	133,700	139,800	104.6	
	医療器械及び 備品購入費	225,500	97,100	128,400	132.2	
	施設改良費	48,000	36,600	11,400	31.1	
	出 資 金	145,329	103,628	41,701	40.2	
	企業債償還元金	57,266	86,261	▲ 28,995	▲ 33.6	・企業債償還元金に係る繰入の減少
	医療器械購入	88,063	17,367	70,696	407.1	・新型コロナウイルス感染症対応医療機器・ 備品に係る繰入の増加
	施設改良	0	0	0	-	
	固定資産売却代金	411	161	250	155.3	
	補 助 金	0	32,929	▲ 32,929	皆減	・新型コロナウイルス感染症関連補助金の減 少
	計 (A)	419,240	270,418	148,822	55.0	
うち翌年度繰越財 源の充当額(B)	49,978	0	49,978	皆増	患者用WiFi整備等にかかる出資金	
資 本 的 支 出	建設改良費	334,142	247,506	86,636	35.0	
	医療器械及び 備品購入費	285,610	153,565	132,045	86.0	・電子カルテ(継続費1/2年目)、MRI等の機 器購入
	施設改良費	48,532	93,941	▲ 45,409	▲ 48.3	・冷温水発生機改修工事及び厨房排水槽改 修工事
	企業債償還元金	1,036,631	1,035,030	1,601	0.2	
	投 資	444	59	385	652.5	
	住宅敷金	444	59	385	652.5	
	計 (C)	1,371,217	1,282,595	88,622	6.9	
資本的収支差引額 [(A)-(B)]-(C)=(D)	▲ 1,001,955	▲ 1,012,177	10,222	1.0		
繰越工事資金	0	49,936	▲ 49,936	皆減		
消費税資本的収 支調整額	687	459	228	49.7		
損益勘定留保資金	1,001,268	961,782	39,486	4.1		

- ※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、繰越工事資金 及び消費税資本的収支調整額及、損益勘定留保資金で補填する。
- ※ 消費税資本的収支調整額とは、医療器械等の購入(資本的支出)にあたって支払われた消費税のうち、課税売上割合によって控除されたため納める必要がなくなり、病院内部に留保された資金を指す。
- ※ 損益勘定留保資金とは、収益的収支において減価償却費、資産減耗費等の非現金支出費用を計上することにより病院内部に留保された資金を指す。

第V期中期経営計画 評価指標

1 医療の質の向上

1-1 急性期・高度医療の充実

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	評価
(1) 手術患者数(全身麻酔)及び医療圏内におけるシェア率	目標値	-	1,461人以上	1,477人以上	1,495人以上	1,514人以上	1,533人以上	○R4実績について、患者数が新型コロナウイルス感染症流行前の水準まで回復せず、手術患者数は前年度から減少し、目標値を下回った。 なお、R4年の全身麻酔による手術の医療圏内シェア率は現時点で未公表。
	実績値	23.0%以上	24.0%以上	24.2%以上	24.4%以上	24.6%以上	24.9%以上	
(2) がんによる入院患者数及び医療圏内におけるシェア率	目標値	-	954人以上	990人以上	1,028人以上	1,066人以上	1,104人以上	○がん入院患者数、医療圏内におけるシェア率とも目標未達成となった。 引き続き手術や放射線治療、化学療法、緩和ケア等に注力し、患者数の増加に努める。
	実績値	890	796	773				
(3) 入院患者一人当たり診療収入	目標値	-	52,500円以上	52,500円以上	52,500円以上	52,500円以上	52,500円以上	○平均在院日数が短縮し、単価の高い患者が増えたこと、感染対策や看護師の処遇改善に係る診療報酬加算の取得等により、一人当たり診療収入は増加し目標を達成した。
	実績値	52,964円	55,792円	58,325円				
(4) 外来患者一人当たり診療収入	目標値	-	11,400円以上	11,400円以上	11,400円以上	11,400円以上	11,400円以上	○前年度を上回り目標を達成した。今後も手術や放射線治療、化学療法等に注力し、単価の維持に努める。
	実績値	11,752円	11,453円	11,974円				

1-2 安全・安心・納得の医療提供

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	評価
(1) クリニカルパス適用率	目標値	-	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上	50%以上	○R4は目標未達成となったが、昨年度の実績値を上回った。 新規パスの作成や古いパスの見直しや修正、医師へのパス使用の働きかけや、クリニカルパスに精通した人材の育成等を行っていく。
	実績値	42.1%	45.9%	49.4%				
(2) 褥瘡発生率	目標値	1.40%以下	1.10%以下	1.10%以下	1.10%以下	1.10%以下	1.10%以下	○R4は目標未達成となったが昨年より減少した。 感染対策のためベッドサイドで褥瘡対策の実施確認や指導ができず、好発部位の観察やケアなどの不足があったと考えられる。 褥瘡の発生を抑えるために、備品整備を進めるほか、指導方法の検討や職員の育成を行っていく。
	実績値	1.13%	1.75%	1.51%				
(3) 転倒・転落発生率及び負傷率	目標値	2.52‰以下	2.48‰以下	2.48‰以下	2.48‰以下	2.48‰以下	2.48‰以下	○転倒・転落発生率は減少したものの、負傷率は増加し、目標未達成となった。 負傷率を抑えるために、転倒対策用具の整備を行い、患者の筋力低下予防・せん妄ラウンドを実施していく。
	実績値	0.05‰以下	0.04‰以下	0.04‰以下	0.04‰以下	0.04‰以下	0.04‰以下	
(4) 認知症ケア加算算定件数に占める身体抑制有の割合	目標値	-	45%以下	45%以下	45%以下	45%以下	45%以下	○R4は目標未達成となったが、昨年度より減少した。 抑制解除ラウンドを複数回行い、不必要な抑制を外すようにしたため、身体抑制を減らすことができた。 今後ラウンドを継続して実施していく。
	実績値	47.2%	57.7%	45.2%				

1-3 地域に根差した医療の提供

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	評価
(1) 紹介率 (地域支援病院の計算式により)	目標値	50%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	70%以上	○R4の紹介率については目標値を上回った。逆紹介率は、目標値にわずかに届かなかったものの地域医療支援病院としての要件は満たしている。 今後逆紹介の増加に努め、紹介患者数の増加、新規入院患者の獲得、収益の確保につなげていく。
	実績値	70.6%	68.0%	70.4%				
(2) 逆紹介率 (地域支援病院の計算式により)	目標値	70%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	100%以上	
	実績値	90.4%	96.2%	98.6%				
(3) 地域連携クリニカルパスの適用率 (大腿骨頸部骨折)	目標値	-	39.5%以上	39.5%以上	39.5%以上	39.5%以上	39.5%以上	○R4の地域連携クリニカルパスの適用率については、目標を下回った。 症状の度合いや認知症等で同意が取れない等によりパスの適用に至らない場合もあるが、原則、患者に対してパスの適用について提案していく。
	実績値	25.0%	37.7%	29.9%				
(4) 地域連携クリニカルパスの適用率 (脳卒中(脳梗塞・脳出血・くも膜下出血))	目標値	-	29%以上	29%以上	29%以上	29%以上	29%以上	
	実績値	29.7%	26.4%	24.6%				

2 経営の安定

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	評価
(1) 医業収支比率(医業収益/医業費用)	目標値	98.4%	95.6%	96.0%	97.1%	97.2%	97.2%	【医業収支比率】【経常収支比率】 ○収益面では、患者一人一日あたり診療単価が増加したものの、患者数が前年度に比べて減少したことから、医業収益は前年度比で減となった。経常収益についても、新型コロナ対応に係る補助金の減少等もあり、前年度比で減となった。 ○費用面では、患者数が前年度に比べ減少したものの、電気、重油、ガスなど光熱費の高騰、保守無料期間の終了による委託料の増加などにより、費用は増大した。
	実績値	86.1%	92.7%	86.5%				
(2) 経常収支比率(経常収益/経常費用)	目標値	100.8%	100.1%	100.4%	100.9%	101.2%	101.6%	結果、経常利益を計上し、H29年度から続く黒字決算となり、経常収支比率は低下したものの、目標を達成した。その一方で、医業収支比率は前年度に比べ低下し目標を下回った。 医業収益の回復を目指し、紹介・逆紹介の推進による実入院患者の確保や医療の質向上、診療単価の増加に繋がる医療提供体制の構築に取り組むとともに、医業費用の削減にも継続的に取り組んでまいりたい。
	実績値	107.0%	114.0%	103.3%				
(3) 材料費比率(材料費/医業収益)	目標値	23.2%	22.4%	22.4%	22.0%	22.0%	22.0%	○患者数が前年度比で減となったものの、化学療法件数や高額薬品の使用の増加や新型コロナ治療薬が自院での購入に切り替わったこと等から薬品費が増加し、材料費は上昇した。医業収益の減少もあり、材料費比率は上昇し目標未達成となった。 引き続き、ベンチマークの活用や価格交渉による薬品費の抑制など、材料費の節減に努める。
	実績値	22.5%	21.3%	23.0%				
(4) 月平均実入院患者数	目標値	703人以上	640人以上	647人以上	655人以上	663人以上	672人以上	○前年度より減少し、新型コロナ以前の水準には回復せず、目標達成には至らなかった。 引き続き、診療科別の患者数指標値設定、毎月の結果のフィードバックのほか、逆紹介に取り組むなど、新規入院患者の回復に取り組む。
	実績値	541人	578人	555人				

3 チーム医療の推進・ワークライフバランスの推進

		R2	R3	R4	R5	R6	R7	評価
(1) 職員1人あたり有給休暇取得日数	目標値	-	10日以上	10日以上	10日以上	10日以上	10日以上	○職員1人あたり有給休暇取得日数は前年度を上回り目標を達成した。 取得日数10日以上職員の割合は前年度比で増加したものの、達成には至らなかった。 今後有給休暇の取得をしやすい職場環境づくりに努める。
	実績値	12.3日	12.5日	12.7日	速報値			
(2) 有給休暇取得日数10日以上職員割合	目標値	-	75%以上	75%以上	75%以上	75%以上	75%以上	
	実績値	65.8%	67.2%	68.0%	速報値			